

URBAN KUBOTA

アーバンクボタNo.11 MARCH 1975 株式会社クボタ

●目次

特集＝第四紀

1 ヒトと第四紀の自然 湊正雄	2
2 資料・第四紀の日本列島	
・氷河時代の日本列島 郷原保真	4
・関東ローム層と関東平野 羽鳥謙三	12
・濃尾傾動盆地と濃尾平野 桑原 徹	18
・大阪層群と大阪平野 市原 実	26
・洞くつ 赤木三郎	32
3 座談会・人類紀の自然と生物をめぐって	40
・第四紀の自然環境 市原 実	40
・植生変遷と気候変化 那須孝悌	44
・ヒトの起源とその発展 渡辺直経	48
・大形動物と人間 亀井節夫	54
・第四紀学と現代社会 柴崎達雄	60

発行所＝株式会社クボタ 広告宣伝部
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 TEL(06)648-2612
発行日＝1975年3月
第8刷＝1996年6月(5刷以降27p表1および30～31p図改版)

編集製作＝㈱アーバンクボタ編集室
印刷＝大日本印刷株式会社大阪工場
主要図版作製＝巧凡社

扉写真＝昭和48年の第5次野尻湖発掘調査で発掘された見事なナウマンゾウの牙と巨大なオオツノジカの掌状角。野尻湖層とよばれる約2～3万年前の地層から出土したもので、写真にみるように牙と掌状角とは、互いによりそって出土し、その象徴的な姿から《月と星》の愛称でよばれている。この調査では、骨器と石器と同じ単層の中から発掘され、これらの巨大な動物が新人の狩猟対象であったことがあきらかにされた。〈写真提供・野尻湖発掘調査団〉

写真撮影

①～⑨＝酒井潤一
⑩＝藤田敬

ツガケトウヒ
(長野・西岳)

②カラマツの自生林
標高1650m (長野県・西岳)

③チョウセンゴヨウ・トウヒ・
コメツガ・アオモリトドマツな
どの原生林 標高2200m
(長野県蓼科の大石峠東側)

④ヒメバラモミ 標高1800m
(長野県美ヶ原)

⑤湿原のミツガシワ
(乗鞍スズラン牧場)

ウヒ

⑦カラマツの花

⑧チョウセンゴヨウとシャクナゲ

⑨メタセコイア

⑩ミスバショウ